

# 法政大学報

郵便番号 102-8160  
東京都千代田区富士見  
2丁目17番1号  
発行 法政大学  
編集 総長室

## 第34号 主な内容

進む教学改革  
スポーツ健康学部がスタート  
本学財政の現状について  
2009年度入試結果

(2面)  
(3面)  
(4面)

OB訪問・株式会社キャリアスポーツ  
代表取締役 諸隈直樹氏  
付属校短信  
2009法政フェア開催決定  
体育会の活躍

(5面)  
(6面)  
(7面)  
(8面)

最新情報は

<http://www.hosei.ac.jp/>



4月に一期生を迎えたスポーツ健康学部（スポーツ健康学部棟のフィットネススタジオにて）

# 新たな領域へ

## 巻頭言



総長  
増田 重男

# グローバル力の充実に向けて

1990年代以降、世界経済のグローバル化の進展が注目を浴びることになった。それはIT技術革新による情報化によって世界中の情報伝達時間の短縮が起きたこと、金融自由化の促進による金融取引の世界化の進展などによって、世界的なメガコンペティションが引き起こされることになった。大学においても、国際競争が激化してきている。今や大学生の世界的な移動が進み、日本の大学も国際基準、国際的評価を免れることができなくなっている。

2008年7月に出された「教育振興基本計画」において留学生30万人計画が打ち出され大学の国際化の促進が注目されることになった。

法政大学の国際化の本格的取り組みは、1999年に新設された国際文化学部のSA（スタディ・アブロード）に始まることであろう。7言語（英・独・仏・西・露・中・朝鮮）から1言語を選択して、2年次に必修プログラムとして現地で学ぶという試みは、その新しさも多様性で注目された。それ以後も他学部にも波及し、文・経済・経営・社会の各学部で英語圏を中心にSAが行われるようになり、多くの学生が海外で学ぶようになってきた。

2008年にはGIS（グローバル教養学部）が誕生し、すべての授業を英語で行う、より国際化を意識した学部として、学生の国際交流は一段と高い段階に達している。

また大学院でも長期海外留学・学位取得支援制度を設け、海外の大学で学位取得を目指す学生を支援している。2003年からは日仏共同博士課程コンソーシアムにも参加し、日仏で博士課程学生の交流が行われている。2009年度にはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムの一つである「ユーロ・フィロソフィー」のフランス語による授業が集中講義方式で実施された。

以上のように、法政大学において国際交流は以前と比べて非常に活発に行われているが、そこにも大きな問題がある。

第一に、海外からの留学生数はまだ学部・大学院合わせて300人程度と低い水準にあるということである。SAなどで海外へ出かけた学生が大きく変わったのと同様に、海外から多くの留学生を受け入れることによって、大学全体の学生の意識を大きく変えていくためには、ある程度の留学生数が必要である。このためには日本語研修制度の整備、留学生のための宿舎の問題など多くの課題がある。

第二に、法政大学は多くの海外の大学と国際交流を行っているが、その中心は教員各人の個人的交流が中心で、大学全体のシステムとしての位置付けがはっきりしていない。特にわが国からの情報の発信ということについては弱い。これをどう改善していくのかが大きな課題である。

現在、「明日の法政を創る」審議会に「国際化推進」作業部会を立ち上げ、これらの問題を検討中である。この答申を受けて、より一層、法政大学の国際化を中身のものにしていきたい。



# スポーツ健康学部がスタート



スポーツ健康学部棟

2009年4月より多摩キャンパスにスポーツ健康学部がスタートした。第一期生は160人入学(入試志願者数は3003人)。学部棟入口には学部のサ

また、食堂を「栄養実習の場」としてとらえており、授業で得た知識を、実際に食事を摂る過程で実感してもらおうとの狙いから、一週間分のメニューにすべてカロリー表示などを行い、栄養管理・コンディショニングに役立てている。また、実習の場であることから、学生は学費の中から栄養教育費をすでに支払っている。食事代の一部は学部で負担。スポーツ健康学部生であれば学生証を提示するだけで食事が用意されるシステムになっているのも大きな特徴である。

「スポーツ振興と個人の健康づくりに貢献できる人材の養成」を学部理念に掲

インが設けられており、そこから先に、マルチメディア環境の整った各教室・豊富な実習室・特設人工芝グラウンドが広がっている。また、学生は学費の中から栄養教育費をすでに支払っている。食事代の一部は学部で負担。スポーツ健康学部生であれば学生証を提示するだけで食事が用意されるシステムになっているのも大きな特徴である。

「スポーツ振興と個人の健康づくりに貢献できる人材の養成」を学部理念に掲



学生がバスケットボールをプレーしている様子。

## 現代福祉学部 学科再編へ

現代福祉学部長 長山 恵一



士(日本心理学会認定)の取得が可能であり、併設大学院に進む学内選抜枠を特別に用意している。学部から一貫した「臨床心理学」は東京六大学では初めてであり、心理療

学科再編の基本的な考え方として2000年に出発し、多くの卒業生を送り出している。しかし、日本の福祉イメージはまだ老人ホーム介護や3K職場といった旧来の福祉で語られる傾向があり、本学部が目指す地域コミュニティづくりや福祉心理と連携した「幅広い福祉」という考えが十分、社会に伝えられてきたとは言いがたい。こうした点を改善し、さらなる学

「福祉コミュニケーション学科」では従来同様、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得可能。「臨床心理学」では認定心理

## 2010年4月、大学院が大きく変わる!

この10年間の本学大学院改革は、積極的な新学部開設に伴い新たな学問領域を担う研究者、高度職業人養成に向けた研究型大学院の拡充と、規制緩和、制度改革による専門職大学院の開設という複線型教学改革であったといえる。いずれも、21世紀の「知識基盤社会」の到来、社会の多様化・高度化などに呼応する形での改革であった。本学では、こうした不断の改革を通じて研究者や高度職業人養成に取組んできた。

この流れは、08年4月の独立大学院「政策創造研

## 通信教育部

### 新たな学びのステージへ

本学通信教育部は、1947(昭和22)年にわが国最初の大学通信教育として誕生し、以来60年以上にわたり、通信制の特性を發揮し、多くの優れた人材を社会に輩出してきた。設立当時は「職業に従事しながら就学を志望する者および通学困難である者」に対し、主として通信の方法により、広く高等教育の門戸を開放する」としてきた。そして、その後の社会変化により、その使命も変容し、「生涯学習の担い手」としての役割も付加され現在に至っている。

本来、通信教育課程は、

## 教学

### アジア学術セミナー2008

2008年12月26日、30日にかけて、インド・バンガロール市で「アジア学術セミナー2008」が開催された。本学と独立行政法人日本学術振興会(文部科学省の外郭団体)、インド科学技術庁(DST)、先端科学JNセンターの4団体が共催した。

今回のメインテーマは「生命の環境応答におけるゲノム制御」で、組織委員を、行動力のある人材を育成するために創設された明教授が務め、同分野の第一線で活躍する米国(台湾)、韓国、日本、インドの研究者26人と、アジア各国から選ばれた院生や若手研究者45人が参加した。

## エラスムス・ムンドゥス・マスタートプログラムを本学で開催

欧州連合(EU)のエラスムス・ムンドゥス・マスタートプログラムの一つ「ヨーロッパ・フィロソフィー」の(08~09年度)1学期分の授業が、この4月、本学で1カ月間の集中講義方式で行われた。

エラスムス(ERASMUS)とは「The European Community Action Scheme for the Mobility of University Students」を略したもの。EU内における国境を越えた学生交流促進のための同プログラムが、日本で大規模に授業展開されるのは初めてのことだ。



# 大学評価室を設置

## 新しい自己点検・評価活動がスタート

国際的な学位の質保証が求められる中、法政大学では、昨年11月に大学評価室を新設し、自己点検・評価を大学院の執行部を中心にP DCAによる改革・改善のDCAによる改革・改善の実質化を目指す。

大学評価室では、自己点検・評価を質実化させるため、パンフレットやニューズレターの発行、各種セミナーの開催、アンケートによる情報収集・分析等の活動を精力的に進めている。学部・大学院等各部門の責任者を対象とした大学評価室セミナーとしては、3月に財団法人大学基準協会大学評価・研究部部長工藤潤氏による「内部質保証システムによる「内部質保証システム」



3月19日開催の第1回大学評価室セミナー

## ボランティアセンターを開設

2009年4月、市ヶ谷・多摩・小金井の各キャンパスにボランティアセンターが開設されたこと、学内外のボランティア情報を整理・公開し、コーディネート(相談)やイベント・説明会等を通して、積極的に学生へボランティア活動を促進する拠点ができたこととなる。

ボランティアセンターの開設の目的・理由は、ボランティア実践による学生の成長、社会貢献の促進、そして社会からの要請による。社会にはさまざまな問題や課題があるが、その解決の方法として、政府や企業の取り組みだけでなく、現在ではボランティア活動やそれを組織化したNPOの活動が不可欠となっている。学生が、大学生活でそのような活動に触れることは、社会を知り、将来を考慮する上で大きな意味をなす

ボランティアセンターは、地域の社会福祉協議会や各種ボランティア団体・施設等からの問い合わせや連携の打診が続々と寄せられている。

運営に当たっては、専任教職員を配置し、経験豊富なボランティア・コーディネーター(相談員)を市ヶ谷・多摩で新規に専門職として採用した。さらに、設置準備に大きくかかわった

学生たちの主体的な参加によってボランティア活動が活性化し、実りあるボランティアセンターに育っていくことを期待している。

ボランティアセンター各キャンパス所在地  
 (市ヶ谷) 外濠校舎1階  
 (多摩) 総合棟2階  
 (小金井) 事務管理棟1階  
 小金井学生生活課内



## 「野上記念法政大学能楽研究所バーチャルミュージアム」を開設

情報技術(IT)研究センター

能楽研究所と情報技術システムを連携し、展示(IT)研究センターとの共同プロジェクトで「野上記念法政大学能楽研究所バーチャルミュージアム」を、セカンドライフ内に構築した仮想キャンパス上に開設した。これは、能楽研究所所蔵の貴重資料をデジタル化し、公開する取り組みの一環で、この一部を3Dインターネット上に新たな形で公開するもの。

バーチャルミュージアムは株式会社メタバースの支援を得て共同開発し、セカンドライフの操作が不慣れでもスムーズに施設を閲覧できるような「ツアーガイド」を目標としていた。

## 流通産業ライブラリー

インベーション・マネジメント研究センター

インベーション・マネジメント研究センターでは、特色あるデポジット・ライブラリー(保存図書館)の構築を目指し、市ヶ谷キャンパス内に流通・消費財産業に特化した「流通産業ライブラリー」を設立した。2010年度より広く公開する予定である。

設立に際して、半世紀にわたり日本のチェーンストアの経営指導に当たられてきた、日本リテイリングセンター・チーフコンサルタントの渥美俊一氏より、日本チェーンストア経営専門図書館の蔵書を一括して寄贈いただいた。また関連する多数の流通企業からも多

## 本学財政の現状について

1. 2008年度の主な事業

2008年度に本学が行った主な事業等は以下の通りである。

①理工学部・生命科学部・GIS(グローバル教養学部)開設、大学院政策創造部開設、2009年度スポーツ健康学部開設準備 ②リーディング・ユニバーシティ法政一募金の活動の継続的な展開 ③多摩18号館(スポーツ健康学部棟)改修工事、小金井館(スポーツ健康学部棟)改修工事相当地や奨学金基金等

2. 設備の拡充

2008年度に本学が行った主な事業等は以下の通りである。

①理工学部・生命科学部・GIS(グローバル教養学部)開設、大学院政策創造部開設、2009年度スポーツ健康学部開設準備 ②リーディング・ユニバーシティ法政一募金の活動の継続的な展開 ③多摩18号館(スポーツ健康学部棟)改修工事、小金井館(スポーツ健康学部棟)改修工事相当地や奨学金基金等

の組み入れにより、基本金の部合計は74億円の増となった。資産合計から負債合計を差し引いた正味資産は43億円の増となった。

3. 消費収支計算書表2について

2008年度の帰属収入は470億円となり、基本金組入額を差し引いた消費収入は396億円となった。

一方、消費支出は427億円で、消費収入から消費支出を引いた当年度消費収支差額は31億円の支出超過となったこと、繰上りの実現および自立的・批判的精神の涵養を通じた社会的要請に心えられる人材の育成を目指す。現在「明日の法政を創る」審議会を設置し、全学を挙げて改革に取り組んでいる。これらの計画の実現には新たな財源が必要となる。

継続して実施している多摩長期修繕計画に基づく改修工事や小金井再開発第2期工事等の教育環境改善に向けた投資計画も複数予定しており、これらの改革を推し進めていくためには、安定した財政基盤の確立が不可欠である。

このため、本学では徹底した経費の見直しを図るとともに、収入財源の開拓・多様化に向けた取り組みを行っていく所存である。

本学では予算・決算の内容をホームページで公開しています。

http://www.hosei.ac.jp/hosei\_gaiyo/hokoku/

### 消費収支計算書

(単位: 百万円)

消費収入の部		
科 目	2009年度予算	2008年度決算
学生生徒等納付金	37,286	36,677
手数料	3,082	2,997
寄付金	383	554
補助金	4,217	4,445
資産運用収入	868	950
事業収入	260	339
雑収入	632	1,007
帰属収入合計	46,728	46,968
基本金組入額	△6,058	△7,391
消費収入の部合計	40,670	39,577

消費支出の部		
科 目	2009年度予算	2008年度決算
人件費	23,941	22,846
教育研究経費	16,661	15,415
管理経費	1,967	2,010
借入金等利息	203	94
資産処分差額	37	2,312
徴収不能額	0	1
予備	700	-
消費支出の部合計	43,509	42,678
当年度消費収支差額	△2,840	△3,101
前年度繰越消費収支差額	△23,067	△18,467
翌年度繰越消費収支差額	△25,906	△21,569

### 貸借対照表

(単位: 百万円)

資産の部				
科 目	2008年度末	2007年度末	増	減
固定資産	168,280	160,352	7,929	
有形固定資産	128,053	123,071	4,982	
その他の固定資産	40,227	37,281	2,946	
流動資産	25,463	28,087	△2,624	
資産の部合計(a)	193,743	188,439	5,304	

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部				
科 目	2008年度末	2007年度末	増	減
固定負債	16,242	14,537	1,704	
長期借入金	7,501	6,151	1,350	
長期未払金	1,066	315	751	
退職給与引当金	7,674	8,071	△396	
流動負債	11,820	12,510	△690	
短期借入金	3,151	4,538	△1,388	
未払金・前受金・預り金	8,670	7,972	698	
負債の部合計(b)	28,062	27,047	1,015	
基本金の部合計	187,250	179,859	7,391	
消費収支差額の部合計	△21,569	△18,467	△3,101	
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計	193,743	188,439	5,304	

正味資産(a-b)	165,681	161,392	4,290	
減価償却累計額	60,997	58,418	2,579	
基本金未組入額	11,999	11,047	952	

表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計が計算上一致しない場合があります。



2009年度入試結果

入学センター

2009年度入試において、学部・学科新設、

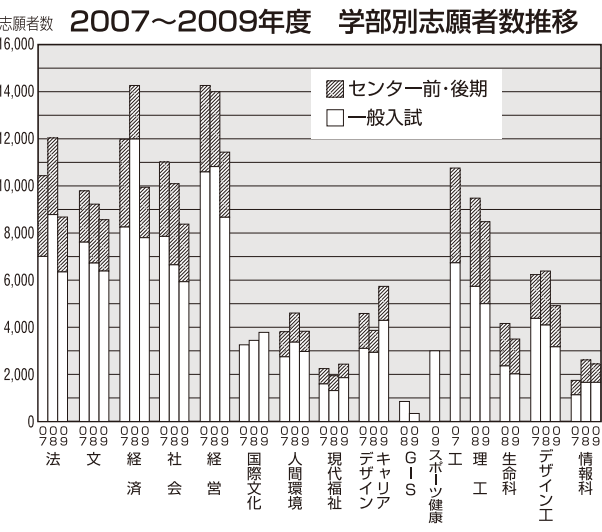
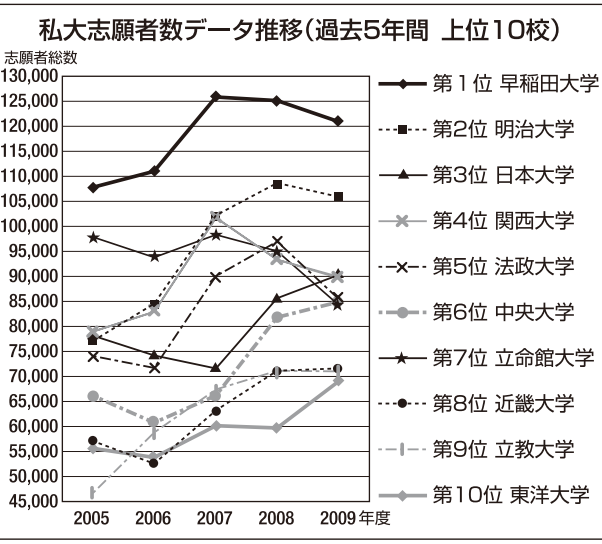
ではスポーツ健康学部の新設、経済学部国際経済・現代ビジネス学科にてセンター試験利用入試(後期)を新規導入したが、志願者数は2006年度入試以来の減少となった。過去最高だった2008年度入試より1万1331人減の8万5686人で、私大志願者数ランキングでは5位となった。

一般入試

対照的に国際文化学部は337人増の3805人(前年度比109.7%)と3年連続志願者増、キャリアデザイン学部は1340人の大幅増に転じ、430人の大幅増に転じ、12人となった(前年度比145.1%)。現代福祉学部も543人の大幅増で1884人となった(前年度比140.5%)。2008年度において志願者が増加した人間環境学部と高倍率だった創設2年目のGISは減少となった(前年度比138.4%)。

理工学部・生命科学部の志願者はいずれも減少に転じたが(前年度比理工86.9%、生命科83.6%)理工学部経営システム工学科では187人の増、生命科学部生命機能学科植物医学専攻では44人の増で志願者を伸ばした。デザイン学部は建築・土木系の全国的な志願者減の影響を受け前年度比76.9%に留まった。

センター試験利用入試の志願者はいずれも減少に転じたが(前年度比理工86.9%、生命科83.6%)理工学部経営システム工学科では187人の増、生命科学部生命機能学科植物医学専攻では44人の増で志願者を伸ばした。デザイン学部は建築・土木系の全国的な志願者減の影響を受け前年度比76.9%に留まった。



オープンキャンパス日程

Table with 2 columns: Campus (多摩, 市ヶ谷, 小金井) and Schedule (Date, Time).

Table with 2 columns: Campus (市ヶ谷, 小金井) and Schedule (Date, Time).

法政大学の参加する全国各地の進学相談会

Large table listing nationwide career consultation events with columns for City, Date, and Venue.

理工学部は全国的に人気傾向が持続している中減少に転じ、理系学部全体で2101人減の1万1908人となった。しかし情報科学部は1704人で2年連続志願者が増加(前年度比100.5%)、設置2年目の理工学部機械工学科航空操縦学専修は28人増加し101人の志願者があった(前年度比138.4%)。

次年度入試に向けて

2010年度は現代福祉学部が福祉コミュニケーション学を中心に、教員による模擬授業など個々の広報活動を密接に連携させることにより、8万後半の9万前半の安定的な志願者確保を図っていきたいと考えている。

2009年度 出身高校別合格者数 (一般入試合格者10人以上の高校を掲載)

Large table listing 2009 admission results by high school, including school names and student counts.



日問 口訪

スポーツを通じて 人と人をつなげたい

バレーボールの日本代表選手として、2000年から2005年の6年間、世界大会で活躍した諸隈直樹氏。高校時代には「超高校級」といわれ、全日本のユース代表に選出され世界大会で3位になり、ベストスコアラワードを受賞。現役引退後は、起業家に転身し株式会社キャリアスポーツを経営する一方、今春4月から全日本男子バレーボールチームのコーチに就任。ロンドンオリンピックでのメダル獲得を目指して、新たな挑戦をスタートした。

諸隈氏は、両親が社会人バレーボールの選手であったというバレーボール一家に誕生。その影響もあり小学5年生から双子の兄と共にバレーボールを始めたという。中学生時代には早くも頭角を現し、中学3年生の時には佐賀県選抜チームに選ばれ、全国大会で準優勝を果たしている。しかし、準優勝の喜びよりも「決勝戦で負けたことが悔しかった」と諸隈氏。



諸隈直樹氏



Profile
もろくま・なおき
1978年佐賀県生まれ。法政大学経営学部経営学科卒業。バレーボール選手として、高校時代には春の高校バレーで優勝。本学体育会バレーボール部ではキャプテンを務め、ユニバーシアードの代表選手に選出。卒業後は、富士フィルムプラネットを経て、豊田合成トレフェルサに移籍。2000年から2005年の6年間、全日本男子の代表選手に選出。2008年に現役を引退し、株式会社キャリアスポーツを設立し、代表取締役役に就任。2009年4月からは全日本男子バレーボールチームのコーチに就任。

法政バレーボール部は、氏が1年生の時には全日本インカレ(全日本バレーボール大学男女選手権大会)で準優勝するものの、2年生になるとチームは低迷。あまり良い結果が出せなくなり、キャプテンであった諸隈氏は本当に悩んでいた。
「思うようにチームをまとめられない自分が悔しかった。しかし、悩んだ分、真剣にバレーボールと向き合うことができた。チームプレーの大切さやバレーボールへの情熱を再確認できたことは、その後のバレーボール生活に大変に役立っています」

4強入りを果たしている。「キャプテンとしては、大学時代の辛い経験がここで生かされたと思っています。バレーボールの面白さは、やはり『難しい』ということ。ボールを自在に扱うことも難しいし、チームが一体となって動くことも難しい。私がバレーボールを続けてこれたのも、そうしたバレーボールの難しさに魅力を感じたからです」と、諸隈氏はバレーボールの選手人生を振り返る。
現役を引退後、諸隈氏は2008年5月に「株式会社キャリアスポーツ」を設立。現在、起業家としての道を歩んでいる。元プロバレーボール選手をインストラクターとして派遣し、マさんバレーなどのバレーボールチームを指導するというのが、会社の中心業務となっている。

「プロ契約をした25歳のころから起業を意識しはじめました。その後、いろいろな起業家の方に出会ってアドバイスをいただき起業を決意。自分の強みを生かせることをやりたいと考え、現在の会社を思い付きました。目標を高くもち、限界に挑戦するという点では、起業家とアスリートと似ていると感じていましたから、不安は全くありませんでした」

会社の理念は「人と人をつなぐ」。スポーツを通じて人と人の交流の場をつくらせたいという、諸隈氏の思いが込められて

いる。プロの指導を受けたというアマチュア選手は予想を超えて多く、一度派遣指導をするたびピーターとなる顧客も多いため、2年目にして経営も軌道に乗るようになった。
起業家としての活躍の一方で、諸隈氏は日本サッカー協会が主催する「JFAこころのプロジェクト」に参加。小学生の夢を育てることを目的に、自身の子とも時代の夢を話し、夢を持つことの大切さを教えているという。「子どもたちとの触れ合いがとても楽しく、やりがいのある仕事です」と微笑む。

大学時代はバレーボール人生で最も辛かった4年間でもあったが、ユニバーシアードの代表選手に2回選ばれて、3年生の時に世界大会で2位になったことなどが、個人的な思い出として残っているという。
大学卒業後は「富士イルムプラネット」に入団するが、1年後にプラネットが廃部となったため、「豊田合成トレフェルサ」に移籍。24歳でキャプテンに指名され、25歳の時にはプロ契約を結んだ。氏が引退するまでの間に、豊田合成トレフェルサは日本のトップリーグであるVリーグに昇格し、優勝争いに絡み初め

「大変な苦しいことだと思っています。もちろん最終目標は、ロンドンオリンピックでのメダル獲得ですが、当面は8月の世界選手権最終予選での本戦出場チケットの獲得、11月のワールドグランドチャンピオンズカップのメダル獲得、の2つを目指して選手を鍛えていきたいと考えています。北京オリンピックの出場選手たちの実力も一皮むけたような気がします。全日本男子チームの今後の活躍に期待してください」

2009年3月 卒業生の進路状況について

就職状況について

■就職状況について
本学の2009年3月卒業生の進路報告および卒業生へのアンケート調査の結果、卒業生6768人に対して95.9%の6489人が、内訳は就職者5205人(うち在職者112人)(80.2%)、進学者456人(7.0%)、その他828人(12.8%)となっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

■就職環境について
09年3月卒業生が就職活動を行っていた昨年春(08)は、サブプライム問題や原油高による原材料高騰など、就職環境は厳しくなっている。就職希望者に対する就職決定率は98.3%となり、好調な就職内定状況となった。

今後とも卒業生の皆さまの支援・ご協力をお願い申し上げます。

③製造15.2%④情報・通信13.0%⑤卸・小売12.2%となり、理工系学部では①製造30.7%②情報・通信25.2%③サービス13.5%④建設8.8%⑤卸・小売6.1%であった。

■公務員関係
国家一種採用試験に7人(すべて現役)が合格、国家二種採用試験では177人(現役68人、既卒49人)が合格を果たした。



### 移転3年目、全学年が共学に 主体性を育てるプログラムを整備

移転3年目を迎えた今年、してきたさまざまな同窓会など、全学年が共学となった。ど、さまざまな方に支えられ、当初男子校が共学になること、2年間を順調に過ごすことに受験界からは不安の声がもたれていた。現在は共学も聞かれたが、入学した優秀な生徒たち、保護者そして新しい学校づくりに尽力

### 中高

移転時は大変なフィードバックで受験準備も急上昇したが、その後も年々上昇が中高に現れたといえる。これを塾関係者らも、

### 一・中高

共同関係を学ぶ機会となることを最重視している。従って、クラス分けについても、「国民的共通教育の基礎」を学習した上で、加えて進路別の学習があるという考えである。

## 信短校属付

中学と高校が一体となって2年目を迎え、6力年を見通したスパンで生徒たちの成長をどう考えるか、これが課題としてい

### 新カリキュラム完成年度

一人ひとりの進路実現を目指して

桜満開の4月7日、新入生238人を迎え、いよいよ新年度が始まった。本校では、07年度より新カリキュラムを実施している。3年生は文系・理系に分かれての学習が2年目となり、より専門分野の学習が充実。新カリキュラムの成果が試される年といえる。

### 女子高

今年度は、学内でさまざまな取り組みを始めている。生

## 薬物乱用防止に向けた 物理学の取り組みについて

2008年10月28日、12月8日、11日  
【実施日】11月28日、12月8日、11日  
【講師】東京ダルク・スタッフ2人  
【参加者数】3キャンパスで実施し、計183人  
【水谷修氏(夜回り先生)】  
【実施日】12月15日  
【講師】水谷修氏(夜回り先生)  
【参加者数】市ヶ谷キャンパスで実施し、計208人  
【実施日】10月27日、29日  
【参加者数】約150人  
【大森等薬物乱用防止ハンドブック】の作成・配布  
【実施日】10月27日、29日  
【参加者数】約150人

## 世界同時不況に伴う 緊急学生支援を実施

【緊急在学生支援】  
不況による失職、会社倒産等により家計が急変し、修学困難な状態になった学生に対して、一定の要件のもとで08年度後期学費の半額相当額、09年度前期学費の半額相当額を免除。  
【要件】①学部学生・大学院生で、学費の納入が困難だった学生②08年9月以降、家計が急変し、修学が困難となった学生、など。  
【私費外国人留学生緊急経済支援】  
出身国通貨の対円為替レートが大幅に下落した国(対象は韓国、オーストラリア、インドネシア、フランス、オランダ、スロバキア、ロシア、チェコ)の私費外国人留学生に対して、通貨の対円下落率が基準以上の場合、下落率に応じた一定の金額を08年度後期学費から減免した。  
【09年度新入生支援】  
地方出身新入生への緊急経済支援のため、09年度から「法政大学学生生活支援奨学金」を新設した。給付金額は年額12万円、給付人数は150名。

## 卒業生にかかわる 個人情報利用目的

本学は、教育機関として、多くの個人情報を取り扱っており、個人情報保護法(2005年4月全面施行)以前から、その重要性にかんがみ、大学が独自に定めた「個人情報保護規程」などの学内規程の下で保護・管理の徹底を図ってきた。また2005年4月に「法政大学プライバシーポリシー」を策定した。今後とも学内体制や規程の運用については、法令改正、社会情勢の変化、監査結果などに応じて継続的に改善し、本学ホームページや広報誌紙で順次掲載していく。

1. 薬物乱用防止・啓発セミナーの実施
  - 【実施日】10月21日、11月6日、7日
  - 【講師】森田貴教氏(東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課麻薬対策係)
  - 【参加者数】3キャンパスで実施し、計305人
  - ②特定非営利活動法人東京ダルク・スタッフによるセミナー
2. 大森等薬物乱用防止ハンドブックの作成・配布
  - 【実施日】10月27日、29日
  - 【参加者数】約150人
3. 「大森等薬物乱用防止ハンドブック」の作成・配布
  - 【実施日】10月27日、29日
  - 【参加者数】約150人
4. 正課授業への講師派遣
  - 【学部】デザイン工学部、人間環境学部、法学部、経営学部、情報科学部
  - 【対象人数】計2000人
  - 【講師】森田貴教氏(東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課麻薬対策係)
  - 【実施日】09年7月現在

【お問い合わせ】  
本学の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、法政大学総務部オレンジネット校友課までご連絡ください。  
TEL 03(3264)9952  
平日9時〜17時まで



# 2009法政フェア開催決定

## 今年も仙台と長崎で！

これまで広島、札幌、福生団体が多数出演。応援岡、東京、新潟で開催された法政フェア。今年も仙台と長崎で開催いたします。本学の強固なネットワークを、首都圏を拠点に地方主要都市にまで拡大していくことを目的に、このイベントは、卒業生、在校生とその父母、受験生など多くの方が一堂に集い、「法政大学の今」を体感できる一日です。

### ■「法政フェア in 仙台」8月29日(土) 会場Ⅱメトロポリタン仙台

2009年の法政フェア第一弾は仙台。増田壽男総長をはじめ、教職員が多数参加します。宮城県にお住まいの卒業生、在学生・父母、その他大学関係者の皆さま、また近県にお住まいの皆さまの参加を心からお待ちしております。

当日開催予定の主なプログラムは次の通り。  
○「入試ガイド」 河合塾有名講師による本学入試英語問題の攻略法講義、本学入学センター・学生スタッフによる大学説明会、個別アドバイス。  
○「オープンカレッジ」 生島ヒロシ氏による留学対談「海外武者修行のススメ(仮題)」。



法政フェア第二弾は長崎にて開催。本学の卒業生組織である校友連合会が主催する一大イベント、第17回全国卒業生の集い「長崎大会」(10月16日(金)～18日(日))は長崎ブリックホールで開催。

○「本学学生団体パフォーマンス」 地方フェアでは初めて、本学で活躍する学

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する



このカードを皆さまに

「特別イベント」長崎ガールズ きらら変身まつり(仮題) Can Cam 専属モデルの安座間美優氏(本学OG)を中心に、華やかな企画&トークを展開。これまでの本学主催のイベントとは趣向を変え、特に若い世代に向けて都会的な新しい大学のイメージをアピールします。校友同士はもちろん、ご家族、お知り合いの皆さまも誘い合わせの上、大勢の参加をお待ちしています。  
■法政オレンジCAMPUSカード、卒業生会員大募集中！  
「法政オレンジCAMPUSカード」は本学の卒業生・在学生・父母・教職員など関係者専用のオフィシャル・クレジットカードです。  
○「奨学金の充実」がカード発行の目的  
このカードを皆さまに

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する

は、利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる点にあります(カード利用による個人のポイントは通常通りたまりません)。本学ではさまざまな奨学金を用意し、学生を支援しています。これをさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する



### 第2回新宿エコワン・グランプリコンテスト

## 「チャレンジ賞」を受賞

環境センター

新宿区が主催する「第2回新宿エコワン・グランプリコンテスト」で環境センターが賞状を授与された。本学は、市ヶ谷キャンパスの一部が新宿区に所在していることから、新宿区が主催する「新宿みどりのカーテンプロジェクト」や「ごみゼロデー」などの環境改善活動に積極的に参加してきた。また、市ヶ谷キャンパスでは、本学が掲げる「グリーン・ユニバーシティ」の実現に向けて、2004年度からさまざまな緑化に挑戦している。

今回のコンテストには「都心のキャンパスに憩いの場を！」と法政大学・市



新宿区長より賞状を授与



外濠校舎でサツマイモの収穫

エネ！ 4. オフィスで楽しめるペットボトル栽培の4つの取り組みについて特に高い評価を受け今回の受賞となった。今後は緑化の効果を検証するなど、この受賞を糧に、環境問題に取り組んでいきたい。



4月3日、午前9時45分より千代田区の日本武道館で2009年の入学式が挙行された。迎え入れた新入生は15学部・大学院・通信教育部を合わせ約8000人。

近年、ご父母をはじめとした参列者が増えたことから、今年度より午前、午後

## 二部制で入学式を挙行

法政大学応援団によるスティージから始まり、増田壽男総長は「大学は自由で何でもできる場所。自分で自分の問題を見出し、教員や諸施設を利用して十分追求してほしい。そして現在起きている社会のさまざまな問題から逃げることなく、その問題に立ち向かってほしい。歴史と伝統のある大学の一員として、大学生としての自信と自覚をもってほしい」と式辞を述べた。

サッカー元日本代表選手で現在は解説者の水沼貴史氏(本学法学部卒)より

「世界を舞台に戦った試合で味わった挫折感を、チームメイトと協力し、チームがまとまることで乗り越えることができた。現在、自信と情熱を持って生きていくのは、大学時代にいろいろな経験をしたから。経験を自分の力にできるかは皆さん次第です。本気で何かに取り組み、大学生活を終える際に、私はこれに情熱を傾けるのだというものを必ず見つけて卒業してほしい」と、祝辞を述べた。

新入生たちは緊張の中にも期待に胸ふくらませ大学生活の一步を踏み出した。入学式終了後、市ヶ谷キャンパスでは各サークルなどが新入生を歓迎のパフォーマンスで迎え、大いに賑わった。

## 体育会の活躍

2009年春季のおもな活躍から(学年は4月現在)

**全日本ジュニアレスリング選手権で優勝**  
4月に開催されたJOC杯全日本ジュニアレスリング選手権において男子ジュニアの部グレコローマスタイル50kg級で田口光成選手(文学部1年)が優勝、山田啓史選手(法学部1年)が準優勝を果たした。

**全日本学生ウエイトリフティング選抜で優勝**  
4月に開催された全日本学生ウエイトリフティング選抜大会56kg級で安永和詩選手(経営学部3年)が優勝し、105kg級では深沢健志郎選手(経営学部2年)が2位となるなど活躍した。

**内田選手が世界水泳へ**  
4月に開催された日本選手権水泳競技大会自由形200mにおいて内田翔選手(人間環境学部4年)が優勝、松枝孝男選手(経済学部4年)が平泳ぎ100mで3位に入賞した。また内田選手と松枝選手、金田和也選手(社会学部4年)、小坂修真選手(キャリアデザイン学部2年)はベオグラードで開催されたユニバーシアード競技大会にも出場。ローマで開催の世界水泳選手権大会には内田選手のほか、背泳ぎで中野高氏(2007年社会学部卒)、平泳ぎに末永雄太



陸上競技部金丸選手が活躍

野球場が東京六大学野球春季リーグ・全日本大学選手権で優勝  
東京六大学野球春季リーグの第7週2日目が明治神宮野球場で行われ、野球部は明治大学を5対4で下し、勝ち点5の10勝1敗1分で完全優勝を飾った。

野球部の優勝は6季ぶりの43度目で、リーグ最多優勝を更新した。9回裏、今井諒選手(法学部3年)のサヨナラ本塁打で勝利を決めた瞬間、ナインがベンチから駆けだしホームで迎え、スタンドにつめかけた学生・卒業生などの応援団からも大歓声が上がった。

また、6月14日に明治神宮野球場で行われた全日本大学野球選手権の決勝では富士大を下し、14年ぶりの大学日本一に輝いた。今回で8度目の日本一となり、大会の最多記録を更新した。

## 進むキャンパス整備

### 市ヶ谷キャンパス

2007年度までに実施した外濠校舎、富士見校舎、市ヶ谷田町校舎、中庭整備工事などの大規模工事が竣工し、市ヶ谷キャンパスの整備も一つの節目を迎えた。2009年度は新開口校舎の専門職大学院の院生研究室を増床し、また、教員用研究室を新設する工事を予定している。外濠校舎に設置した「インフォメーションボード」をポア



ボアソナード・タワー内に設置された「インフォメーションボード」

### 小金井キャンパス

小金井再開発第2期工事後半工事着工

老朽化した小金井キャンパスを約4年間かけて一新

する小金井再開発第2期工事が進行中である。これまでに部室棟、東館などが竣工し、今年度から小金井再開発第2期工事の後半工事として、理工学部が主に使用する「北館」、事務部門や食堂を配した「管理棟」(いずれも地上3階地下1階建て)の建設に着手した。それぞれ2011年4月からの使用開始を目指している。

### 多摩キャンパス

昨年度より多摩長期修繕計画に基づき工事を開始。竣工後20年以上を経過し



「愛情食堂賞」を受賞した東館の学生食堂



リニューアルされた経済学部棟トイレ

「北館」「管理棟」竣工後

老朽化が進む設備を計画的

### 付属校

中学高等学校では2007年4月に使用を開始した新校舎の定期検査を実施。第二中・高等学校では中

学本館に面談室を設置するほか、2号館窓面の漏水補修工事を予定している。

女子高等学校では老朽化が進行している電気設備機器の更新を計画している。

向坂逸郎氏より寄贈を受けていた中野区上鷺宮の中野校地に、外国人研究者用宿舎の建設を計画。年内に工事に着手すべく、現在、設計作業を進めている。

### そのほか

部(旧工学部棟)を改修した。フィットネススタジオや運動系の各種実験室を備えた

## 新入生合宿を開催

3月30日～31日、八王子セミナーハウスで、新入生合宿を実施した。新しく始まる大学生活を送る上で、友達づくりやさまざまな場面役立つ「コミュニケーション能力」の向上を目的としたこの合宿には、新入生116人と上級生のサポートスタッフ13人が参加し2日間のプログラムを体験した。

プログラムは講堂やグラウンドで体を動かすものから、クラス別の講義や実習、先輩・教職員と語り合う企画など、盛りだくさんの内容。2日目には応援団も駆けつけ、入学を祝してエールも送られた。

先輩スタッフの身近なサポートは新入生の不安を解消し、大学生活への期待をより大きく膨らませている。



野球場で行われた全日本大学野球選手権の決勝では富士大を下し、14年ぶりの大学日本一に輝いた。今回で8度目の日本一となり、大会の最多記録を更新した。



野球場で行われた全日本大学野球選手権の決勝